



早いもので新年度がスタートしてから1ヶ月が経ちました。現在、南小の児童数は約590人。新しいクラスにもすっかり慣れ、元気な声があちこちの教室から聞こえてきます。

今月の30日（土）には運動会があり、どの学年もさっそく練習が始まっています。暑い日が続きますが、体の調子を万全にして、すてきな思い出を作ってほしいです。



教育相談コーディネーターってなに？

「教育相談」とは文字通り、学習のことや友達との関係など、お子さんの教育に関わる全般について相談することです。では、その相談を受けてくれる人は誰でしょう？一番はやはり担任の先生ですよ。でも、お子さんの発達のことや子育てのことなど、より専門的な話を聞きたいと思った場合にどうしたらよいか迷われたことはありませんか？

そこで教育相談コーディネーターが窓口となり、南小の職員（例えば養護の先生やひまわり学級の先生、栄養士の先生など）やスクールカウンセラー、場合によっては学校外の専門機関などと連携を図り、課題の解決に向けてお手伝いをします。

学校は一人の子どもを、いろいろな職員がいろいろな立場でサポートしています。さまざまな視点から子どもを見つめることで、よいアイデアも生まれるでしょうし、保護者の方も新たな気づきが得られるかもしれません。

「こんなことを相談したら申し訳ないかなあ…」と思わずに、まずは教育相談コーディネーターに話をしてみてください。お電話でもお手紙でも、直接お話いただいてもかまいません。

（連絡先 TEL0465-74-2411
教育相談コーディネーター 川瀬 清水）

「困った」と思うことも成長のチャンス！

学校でもお家でも、たびたび起こる子ども同士のケンカやトラブル。それを解決するために話し合いをするのですが、言葉で伝えることが苦手な子の場合、状況を聞き取ることが難しいことがあります。そんなとき「コミック会話」というものを使ってみてください。



イラストにする利点は、①事実を客観的にとらえられる。②当事者同士、共通理解が図れる。③好ましくない行動（言動）をピンポイントでふり返ることができる。などたくさんあります。同じ失敗をくり返してしまう子どもほど効果があるということです。

視覚的な情報を頼りにすると、出来事を整理しやすいですよ。ぜひお試しください。

（参考）平成26年度 教育相談コーディネーター養成研修講座